



### 中国家庭の特徴

2015年5月13日、中国国家衛生・計画生育委員会(衛生計生委)が発表した《2015年中国家庭発展報告》によると、中国の家庭は以下のような特徴があります。

- 一、家庭規模は縮小され、家庭類型は多様化にしています。以前の大家庭より、今は2人家族、3人家族が多く、また1人暮らし、空家、丁克家族(子供を生まない家族)が現れています。
- 二、家庭収入の格差が激しく、高収入家庭の収入は低収入家庭の約19倍であることが分かりました。
- 三、在宅介護と施設介護の需要が高まっています。
- 四、子育てや教育に関して、父親はあまり関わらず、母親が責任を負います。
- 五、出稼ぎ家族の子供や、専業主婦、独居老人が増えています。

今回は中国家庭の中における、女性の役割をご紹介させていただきます。

### 収入の割合:「夫の収入の方が妻より多い」7割

中国における女性の就業率は61%、職場において女性が占める割合は44.7%、さらに、中国女性の管理職率は他のアジア国より多く、36%に達しました。都市においては、第三産業(サービス業)が急速に成長し、多くの発達した都市ではすでに第二産業を上回るまでになっています。この状況下で、女性は、小売、保健、医療・看護、顧客サービスなど様々な業界に入り込み、多勢を占めました。しかしながら、「夫の収入の方が妻より多い」家庭が7割を占めることが判明しました。女性の仕事がフロントヤード分野に集中していることから、就業率が拡大したといっても、女性の収入の平均上昇率は、決して男性を上回っていないのが現状です。

### 「財布の紐は妻が握っている」6割

調査によると、「妻の方が夫より家のお金を多く使っている」家庭は60.8%、「財布の紐は妻が握っている」家庭は59.5%、さらに、「マイホーム購入」や「投資」など、重大な消費についても「妻が主導権を握っている」家庭は29.3%を占めました。

中国で電子商取引が爆発的に普及したのも、女性の消費力によるものとも言えます。電子商取引は、女性の消費力を最大限に刺激し、エンドユーザーと直接向き合う多くの業界では、女性客を主要ターゲットとみなして発展目標に据え、マーケティング戦略を立てました。「女性経済」は、今や、数多くのサービス型企业にとって主要な収入・利益源となっています。

出所:「人民網」よりジェック上海整理

### 【お問合せ】

皆愛企業管理諮詢(上海)有限公司  
株式会社ジェック経営コンサルタント上海事務所  
ADD: 中国上海市長寧区遵義南路88号2305室  
TEL: +86-21-61157069 FAX: +86-21-61157389

